

令和3年8月末の特殊詐欺発生傾向

集計期間R3.1.1～R3.8.31

電子マネーを悪用した架空料金請求詐欺に注意！

～「電子マネーで支払え。」は詐欺を疑って！～

令和3年8月末の架空料金請求詐欺認知件数 22件
(8月は、架空料金請求詐欺が3件発生しています。)**だましの手口(主なキーワード)**

- ・「宝くじに当選しました。」
- ・「未納料金があります。」
- ・「パソコンがウイルスに感染しました。」

(この手口は、突然、携帯電話・パソコンにメールが届いたり、画面に表示されます。)

**被害防止対策!!**

～自分も家族も、被害に遭わないために～

気をつけるー

**対策****◇差出人不明のメールは注意！**

- ・当選金や料金請求のメールは詐欺を疑ってください。
- ・家族などに相談し、すぐに相手に連絡しないようにしてください。

◇ウイルス感染の警告画面が出ても落ち着いて

- ・警告画面が出たら、画面表示を閉じる、ブラウザを終了する、電源を切るなどし、相手に連絡しない。
→画面表示を閉じることができない場合は、警察、家電量販店などに相談する。
- ・端末には、日頃から最新のセキュリティソフトを導入しておく。

◇家族・警察に相談する

- ・あわてない、一人で悩まない、誰かに相談しましょう。
⇒警察相談専用電話 #9110

特殊詐欺の種類等について

特殊詐欺とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪をいう。

令和2年1月1日から、下記の10類型に分類した。

オレオレ詐欺	親族、警察官、弁護士等を装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
預貯金詐欺	親族、警察官、銀行協会職員等を装い、あなたの口座が犯罪に利用されており、キャッシュカードの交換手続きが必要であるなどの名目で、キャッシュカード、クレジットカード、預貯金通帳等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
架空料金請求詐欺	未払いの料金があるなど架空の事実を口実とし金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
還付金詐欺	税金還付等に必要の手続きを装って被害者にATMを操作させ、口座間送金により財産上の不法の利益を得る電子計算機使用詐欺事件又は詐欺事件をいう。
融資保証金詐欺	実際には融資しないにもかかわらず、融資を申し込んできた者に対し、保証金等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
金融商品詐欺	架空又は価値の乏しい未公開株、社債等の有価証券、外国通貨、高価な物品等に関する虚偽の情報を提供し、購入すれば利益が得られるものと誤信させ、その購入名目等で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。これら金融商品に対して、購入意思のない被害者に名義貸しをさせた後、名義貸しをしたことによるトラブル解決名目等で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものを含む。
ギャンブル詐欺	不特定多数の者が購入する雑誌に「パチンコ打ち子募集」等と掲載したり、不特定多数の者に対して同内容のメールを送信する等し、これに応じて会員登録等を申し込んだ被害者に対して会員登録料や情報料等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
交際あっせん詐欺	不特定多数の者が購入する雑誌に「女性紹介」等と掲載したり、不特定多数の者に対して「女性紹介」等を記載したメールを送付するなどし、これに応じて女性の紹介等を求めてきた被害者に対して会員登録料金や保証金等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）ものをいう。
その他の特殊詐欺	上記特殊詐欺の類型に該当しない特殊詐欺をいう。
キャッシュカード詐欺盗	警察官や銀行協会、大手百貨店等の職員を装って被害者に電話をかけ、「キャッシュカードが不正に利用されている」等の名目により、キャッシュカード等を準備させた上で、隙を見るなどし、キャッシュカード等を窃取するものをいう。

(注) 預貯金詐欺とは、従来オレオレ詐欺に含まれていた犯行形態を令和2年1月から新たな手口として分類した。

発生概要

◆令和3年8月末 特殊詐欺被害認知件数・被害額 前年同期比（暫定値）

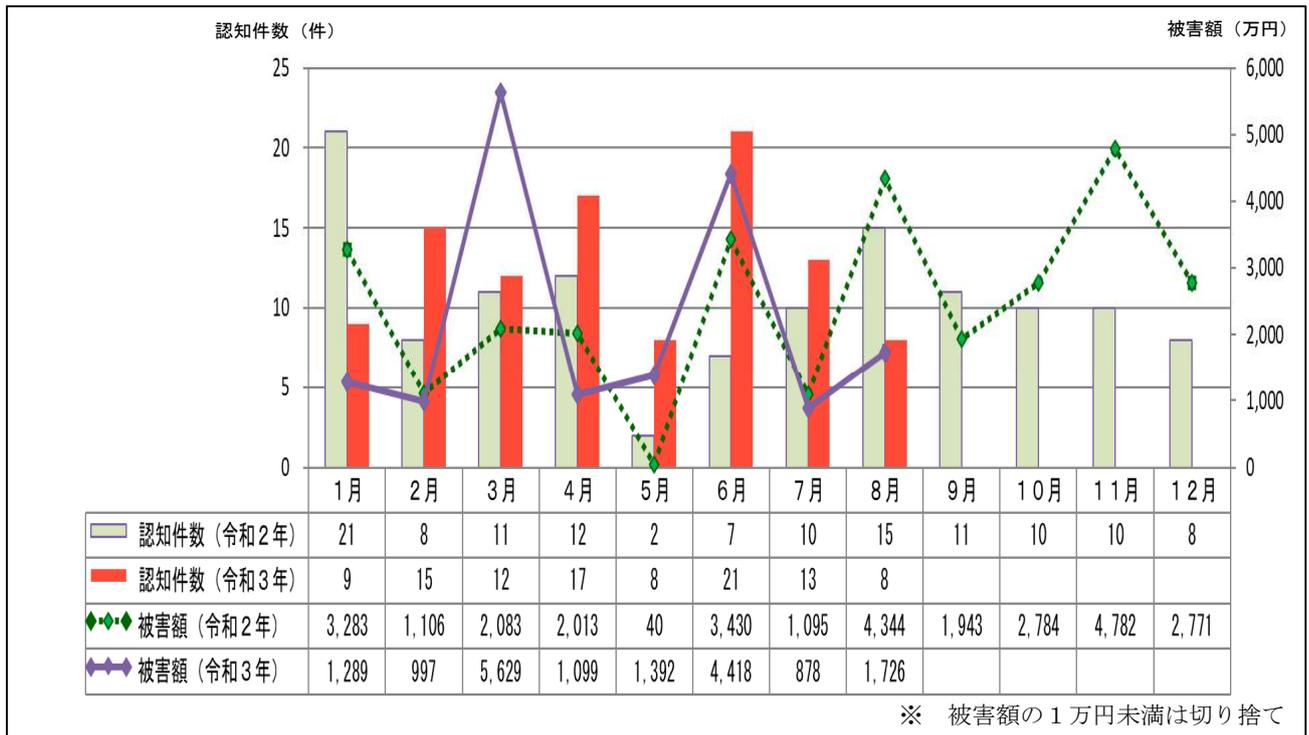
区 分	令和2年中		令和2年8月末		令和3年8月末		前年同期比			
	件数	被害額(円)	件数	被害額(円)	件数	被害額(円)	件数	増減率	被害額(円)	増減率
特殊詐欺 合計	125	296,781,464 (103,438,000)	86	173,966,764 (71,893,000)	103	174,302,234 (43,488,000)	17	19.8%	335,470 (-28,405,000)	0.2% (-39.5%)
内 訳	オレオレ詐欺	11 (45,415,000 14,715,000)	5 (15,540,000 13,240,000)	22 (52,500,000 6,000,000)	17 (36,960,000 -7,240,000)	340.0%	237.8%	(-54.7%)		
	預貯金詐欺	45 (52,581,000 52,581,000)	35 (34,633,000 34,633,000)	23 (20,902,000 20,902,000)	-12 (-13,731,000 -13,731,000)	-34.3%	-39.6%	(-39.6%)		
	架空料金請求詐欺	41 (139,232,352 0)	27 (76,792,652 0)	22 (62,764,020 0)	-5 (-14,028,632 0)	-18.5%	-18.3%	(0.0%)		
	還付金詐欺	2 (1,630,323 0)	2 (1,630,323 0)	12 (10,987,856 0)	10 (9,357,533 0)	500.0%	574.0%	(0.0%)		
	融資保証金詐欺	5 (8,780,789 0)	4 (8,350,789 0)	1 (1,977,908)	-3 (-6,372,881 0)	-75.0%	-76.3%	(0.0%)		
	金融商品詐欺	()	()	()	()	()	()	()		
	ギャンブル詐欺	1 (13,000,000 0)	1 ()	1 (4,479,000 0)	0.0%	-8,521,000 (0)	-1	()		
	交際あつせん詐欺	()	()	1 (4,105,450)	1 (4105450)	()	()	()		
	その他の特殊詐欺	()	()	()	()	()	()	()		
	キャッシュカード詐欺盗	20 (36,142,000 36,142,000)	12 (24,020,000 0)	21 (16,586,000 16,586,000)	9 (-7,434,000 16,586,000)	75.0%	-31%	()		

※ キャッシュカードをだまし取られた後に払い出された金額（払出金額）も被害額（内数）として計上。

◆特殊詐欺被害認知状況

- 認知件数103件（前年同期比+17件、+19.8%）、被害額1億7,430万2,234円（同+33万5,470円、+0.2%）、1件当たりの被害額169万円余（同-33万円余）
- 認知件数のうち、オレオレ詐欺が21.4%、預貯金詐欺が22.3%、架空料金請求詐欺が21.4%、還付金詐欺が11.7%、キャッシュカード詐欺盗が20.4%を占める。
- 認知件数のうち、キャッシュカード対象の被害は46.6%（48件）
（内訳：オレオレ詐欺4件、預貯金詐欺23件、キャッシュカード詐欺盗21件）
- 8月中、オレオレ詐欺3件、架空料金請求詐欺3件、キャッシュカード詐欺盗2件の計8件を認知（前年同月比-7件、-46.7%）

◆特殊詐欺の認知状況（月別前年比）



◆認知状況表（月別・手口別）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	割合
オレオレ		1		3	2	11	2	3					22件	21.4%
預貯金	5	6	5	2			5						23件	22.3%
架空料金請求	1	3	2	6	2	3	2	3					22件	21.4%
還付金	1	1	3	1	1	5							12件	11.7%
融資保証金						1							1件	1.0%
金融商品													0件	0.0%
ギャンブル	1												1件	1.0%
交際あっせん			1										1件	1.0%
その他													0件	0.0%
キャッシュカード詐欺盗	1	4	1	5	3	1	4	2					21件	20.4%
合計	9	15	12	17	8	21	13	8					103件	

◆令和3年8月末 市町村別特殊詐欺認知状況（暫定値）

罪種	市町村	特殊詐欺合計				オレオレ		預貯金		架空料金請求		還付金		融資保証金		金融商品		キャンセル		交際あっせん		その他		キャッシュカード詐欺盗																
		認知件数	被害金額		認知件数	被害金額	認知件数	被害金額	認知件数	被害金額	認知件数	被害金額																												
			男	女																					男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
総数	103	174,302,234	25	78	22	82,500,000	2	20	23	20,902,000	1	22	22	62,784,020	16	6	12	10,987,856	12	1	1,977,908	1			1	4,479,000	1	1	4,105,450	1			21	16,586,000	3	18				
長野中央																																								
長野南																																								
山梨																																								
中野																																								
須坂																																								
千曲																																								
上田																																								
小笠原																																								
佐久																																								
茅野																																								
諏訪																																								
岡谷																																								
伊豆																																								
南アルプス																																								
飯田																																								
阿南																																								
木曾																																								
塩尻																																								
松本																																								
安曇野																																								
大町																																								
その他																																								

※被害者の住居地をもとにした統計になりますので、警察署ごとの認知件数とは一致しません。
 その他は、県外居住の被害者が県内において被害に遭ったものです。

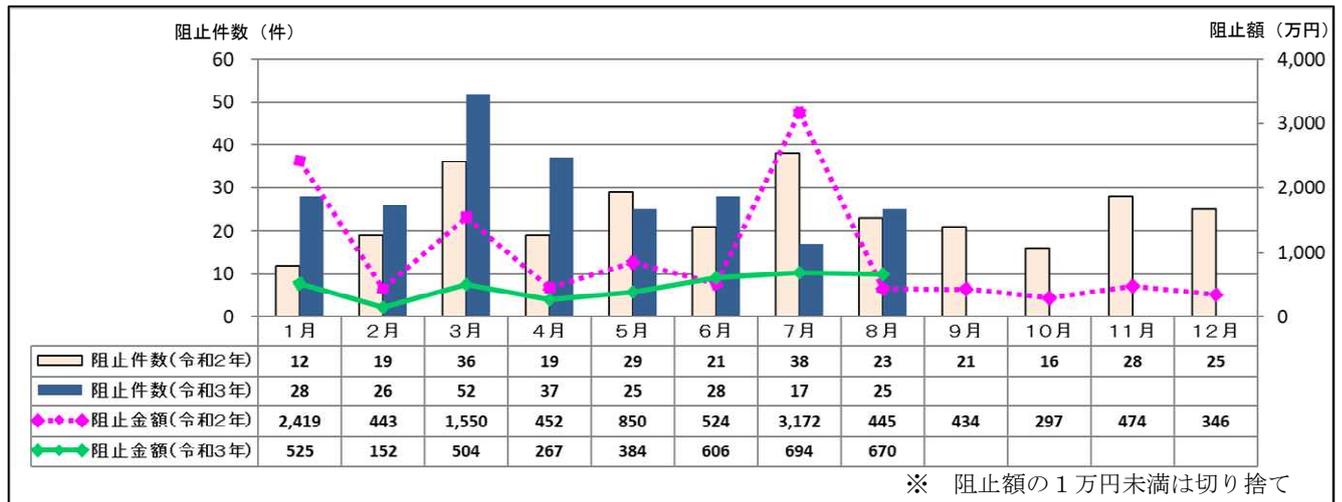
◆令和3年8月末 特殊詐欺被害阻止件数・阻止金額 前年同期比（暫定値）

区分	令和2年中		令和2年8月末		令和3年8月末		前年同期比				
	阻止件数	阻止金額(円)	阻止件数	阻止金額(円)	阻止件数	阻止金額(円)	阻止件数	増減率	阻止金額(円)	増減率	
被害阻止 合計	287	114,178,750	197	98,646,850	238	38,046,735	41	20.8%	-60,600,115	-61.4%	
内 訳	オレオレ詐欺	38	46,089,990	32	42,889,990	13	15,500,000	-19	-59.4%	-27,389,990	-63.9%
	預貯金詐欺	17		9		22	60,000	13	144.4%		
	架空料金請求詐欺	220	66,312,960	143	53,833,560	156	19,492,399	13	9.1%	-34,341,161	-63.8%
	還付金詐欺	2		20		45	989,336	43	2150.0%	989,336	
	融資保証金詐欺	2	800,000	2	800,000					-800,000	-100.0%
	金融商品詐欺										
	ギャンブル詐欺	2	806,800	1	406,800	2	2,005,000	1		1,598,200	
	交際あっせん詐欺										
	その他の特殊詐欺	6	169,000	8	716,500			-8	-100.0%	-716,500	-100.0%

○ 阻止率は72.6%（同+2.5%）

※ 阻止率＝阻止件数÷（未遂事件を除いた認知件数＋阻止件数）

◆特殊詐欺の阻止状況（月別前年比）



◆特殊詐欺阻止状況 月別・手口別一覧

阻止件数(件)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	割合
オレオレ詐欺	3		2	1		3	2	2					13	5.5%
預貯金詐欺	4	4	11	2	1								22	9.2%
架空料金請求詐欺	19	20	23	25	17	16	15	21					156	65.5%
うち、 電子マネー	14	14	20	21	9	12	12	20					122	51.3%
還付金詐欺	2	2	15	9	7	8		2					45	18.9%
融資保証金														
金融商品														
ギャンブル			1			1							2	0.8%
交際あっせん														
その他														
合計	28	26	52	37	25	28	17	25					238	

◆令和3年8月末 特殊詐欺被害阻止者一覧表

被害阻止者(件)	特殊詐欺										阻止金額(円)	
	合計(%)		オレオレ	預貯金	架空料金請求	還付金	融資保証金	金融商品	ギャンブル	交際あっせん		その他
金融機関職員	37	15.5%	3	2	14	17			1			10,611,936
コンビニ従業員	116	48.7%		1	115							11,655,600
運送業者												
警察官	1	0.4%				1						
家族	49	20.6%	9	10	16	13			1			12,604,200
知人	9	3.8%	1	2	5	1						2,550,000
一般人	2	0.8%				2						
その他	24	10.1%		7	6	11						624,999
合計	238	100.0%	13	22	156	45			2			38,046,735

※ その他の内訳：百貨店（7件）、県市町村などの行政職員（9件）、団体職員（1件）、携帯電話会社（2件）
ソフトウェア関連会社（1件）、防災無線（2件）、移動販売車（1件）、家電量販店（1件）

◆令和3年8月末 前兆事案件数

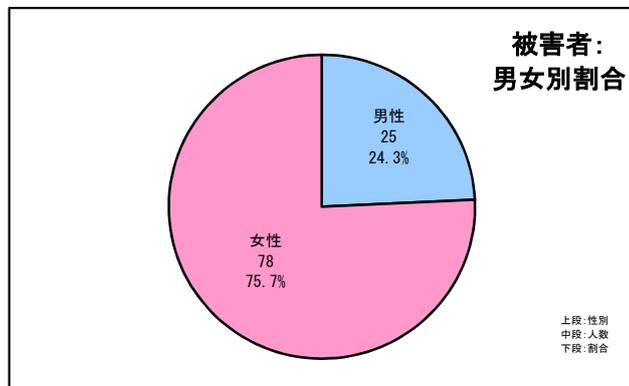
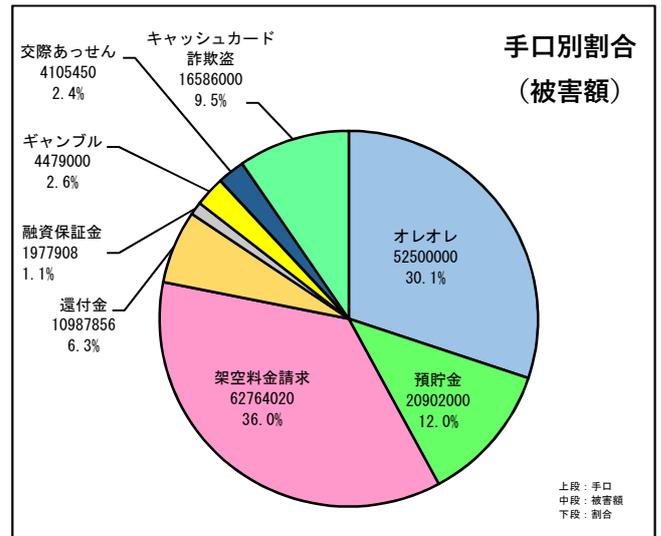
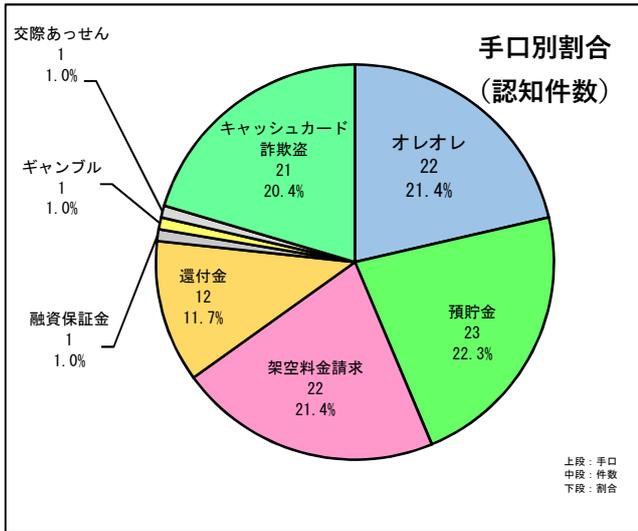
手口	令和2年8月末		令和3年8月末		増減		増減率	
	前兆事案		前兆事案		前兆事案		前兆事案	
		前兆事案のうち 犯行予兆電話		前兆事案のうち 犯行予兆電話		前兆事案のうち 犯行予兆電話		前兆事案のうち 犯行予兆電話
オレオレ詐欺	182	(182)	135	(135)	-47	(-47)	-25.8%	(-25.8%)
預貯金詐欺	236	(236)	206	(206)	-30	(-30)	-12.7%	(-12.7%)
架空料金請求詐欺	682	(32)	317	(14)	-365	(-18)	-53.5%	(-56.3%)
還付金詐欺	29	(29)	155	(155)	126	(126)	434.5%	(434.5%)
融資保証金詐欺	1	(1)	0	(0)	-1	(-1)	-100.0%	(-100.0%)
その他	123	(102)	92	(54)	-31	(-48)	-25.2%	(-47.1%)
合計	1,253	(582)	905	(564)	-348	(-18)	-27.8%	(-3.1%)

◆前兆事案の特徴

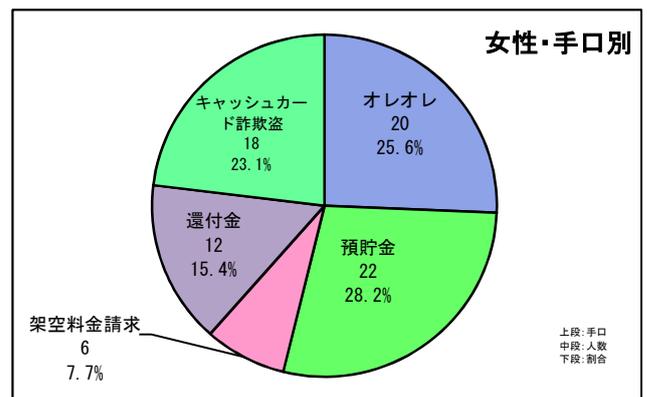
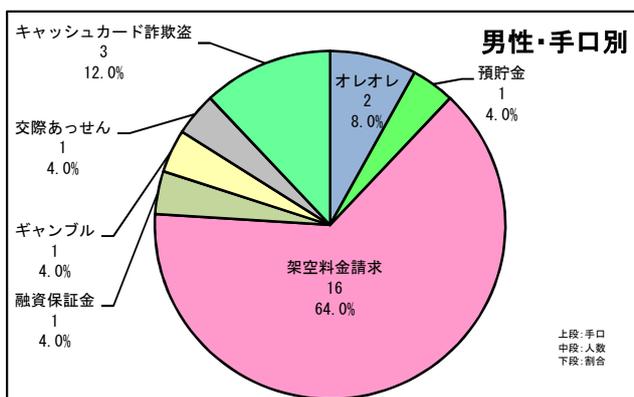
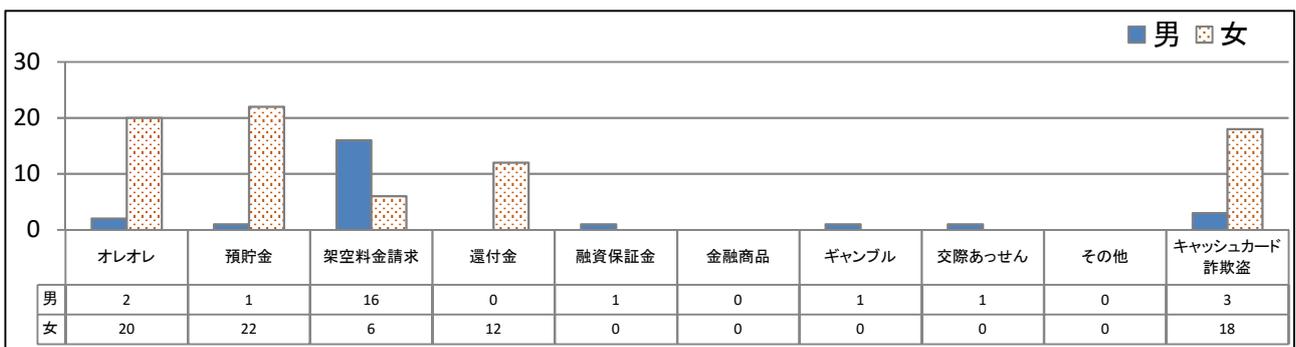
- 前兆事案は、前年同期比で348件減少（905件）
- オレオレ詐欺は、前年同期比で47件減少（135件）
- 預貯金詐欺は、前年同期比で30件減少（206件）
- 架空料金請求詐欺は、前年同期比で365件減少（317件）
- 還付金詐欺は、前年同期比で126件増加（155件）

特殊詐欺の発生傾向（詳細）

◆手口別認知状況



◆手口別・男女数



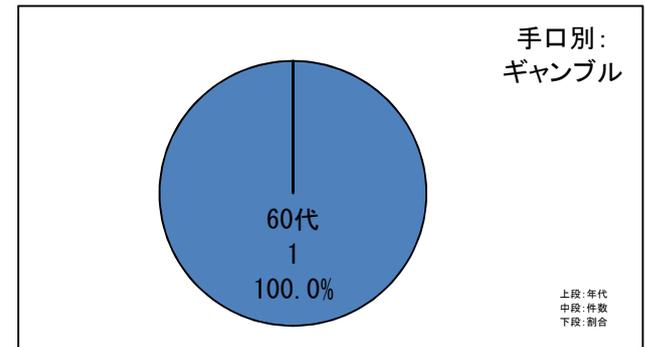
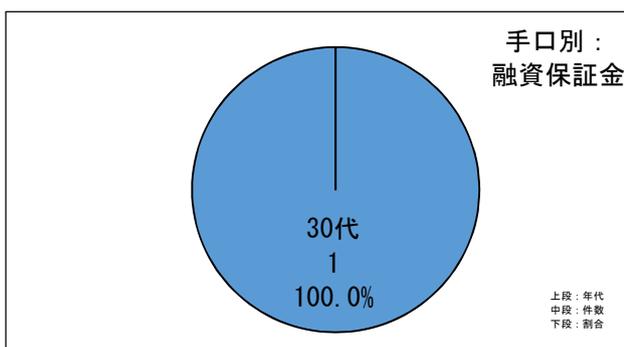
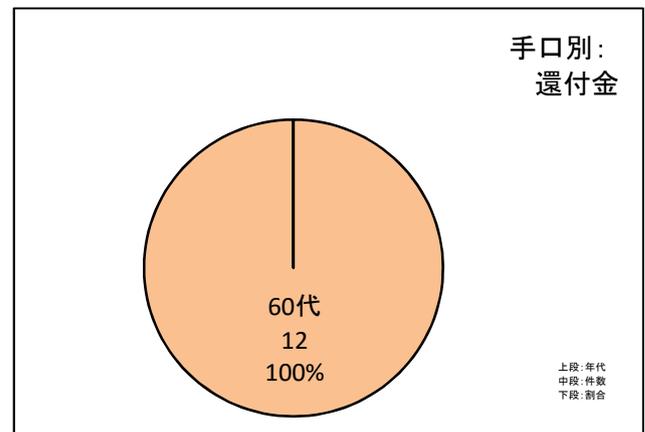
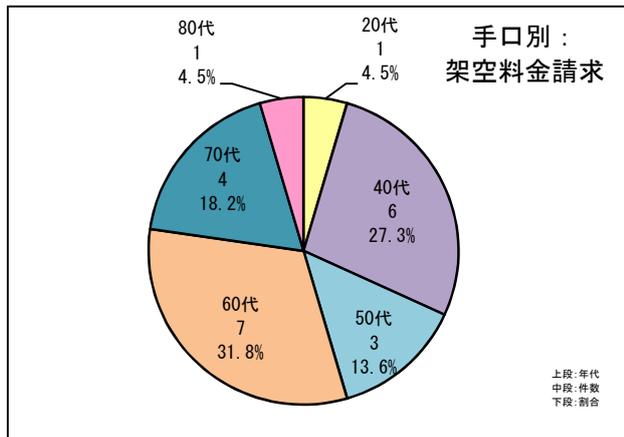
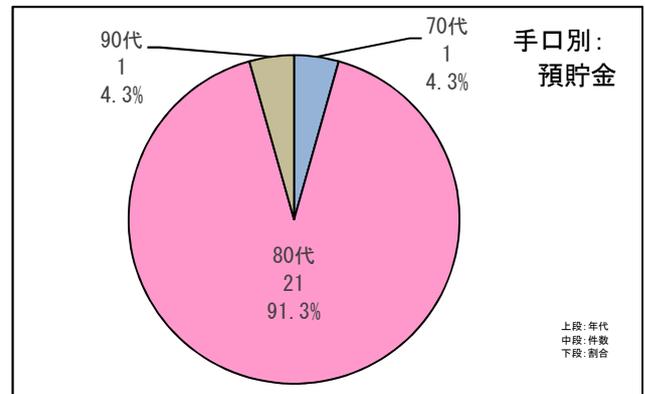
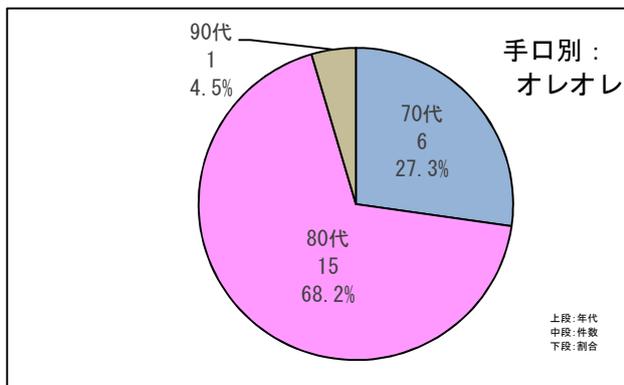
◆被害者の職業

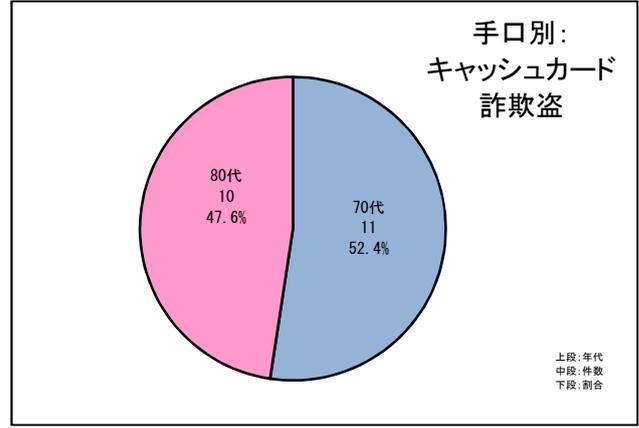
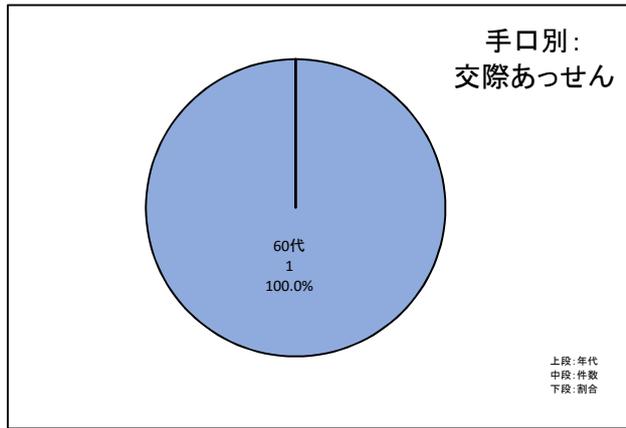
	無職	会社員・会社役員	団体職員	契約社員・派遣社員	自営業	その他	合計
人数(人)	74	12	0	1	8	8	103
割合	71.8%	11.7%	0.0%	1.0%	7.8%	7.8%	100.0%

◆年齢別一覧

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
割合	0.0%	1.0%	1.0%	5.8%	2.9%	20.4%	21.4%	45.6%	1.9%	103
人数(人)	0	1	1	6	3	21		47	2	
高齢者別	高齢者以外					高齢者(65歳以上)				
割合	16.5%					83.5%				

◆手口別年齢構成比





◆交付方法

【主たる交付形態】（交付形態が複合した時、被害額が多い交付形態）

	振込型		現金手交型		キャッシュカード手交型		現金送付型		電子マネー型		収納代行利用型		キャッシュカード窃取型		合計		
	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	認知件数	うち未遂	
認知件数	26		19	4	27	7			10					21	2	103	13
被害額	39,822,234		89,000,000		27,402,000				1,492,000					16,586,000		174,302,234	

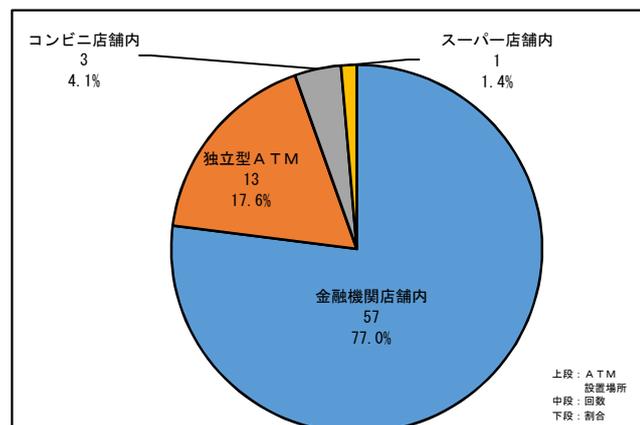
※ キャッシュカード窃取型は、キャッシュカード等を準備させた上で、隙を見てキャッシュカード等を窃取するものをいう。

【延べ数】

	振込型				手交型			送付型							キャッシュカード窃取型	合計		
	窓口	ATM	ネット振込	振込(その他)	自宅	呼出(駅・路上等)	上京型	レターパック	普通郵便	ゆうパック	宅配便	書留類	電子マネー	収納代行			送付(その他)	
オレオレ詐欺					16	5												21
預貯金詐欺					16													16
架空料金請求詐欺		34					4						26					64
還付金詐欺		16																16
融資保証金詐欺			5															5
ギャンブル詐欺		9																9
交際あっせん詐欺		15																15
キャッシュカード詐欺盗																		19
合計回数		74	5		32	9							26					165
構成比		44.8%	3.0%		19.4%	5.5%							15.8%					100.0%
被害額(円)		37,094,326	1,977,908		62,402,000	54,000,000							2,242,000					174,302,234
構成比		21.3%	1.1%		35.8%	31.0%							1.3%					100.0%

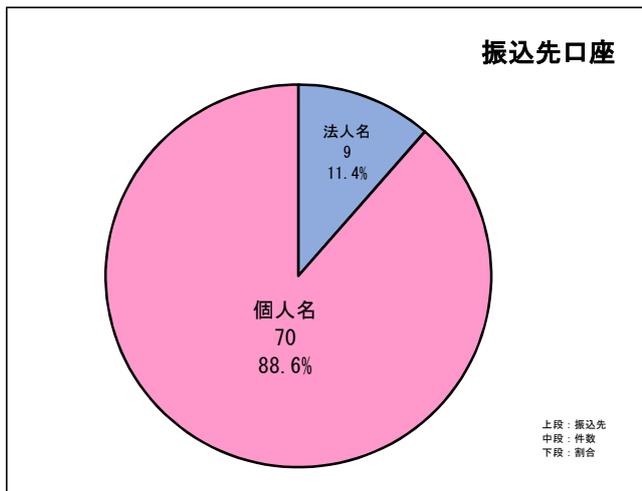
※ 上京型は、被疑者が県外に被害者を呼び出して現金等を詐取すること。

【振込場所 (ATM)】

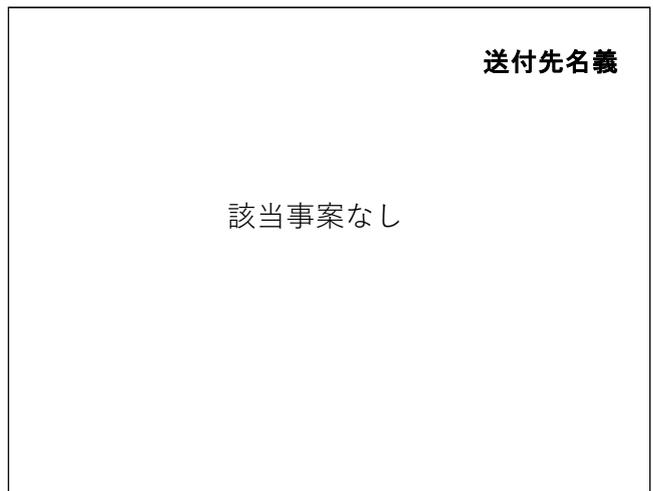


◆振込先の口座名義・送付先の宛先

【振込先口座】

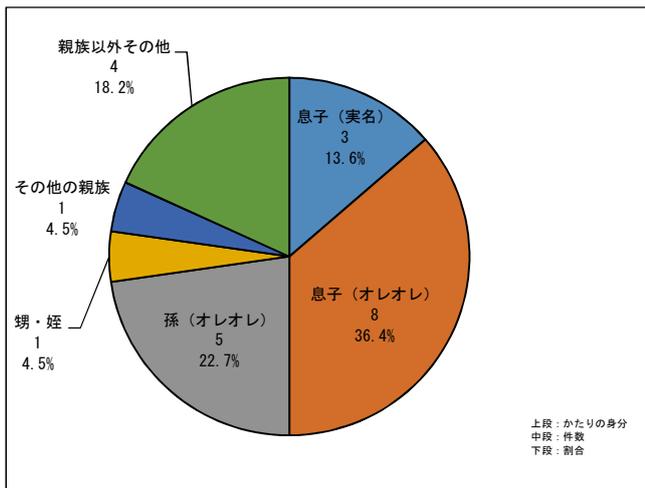


【送付先名義】

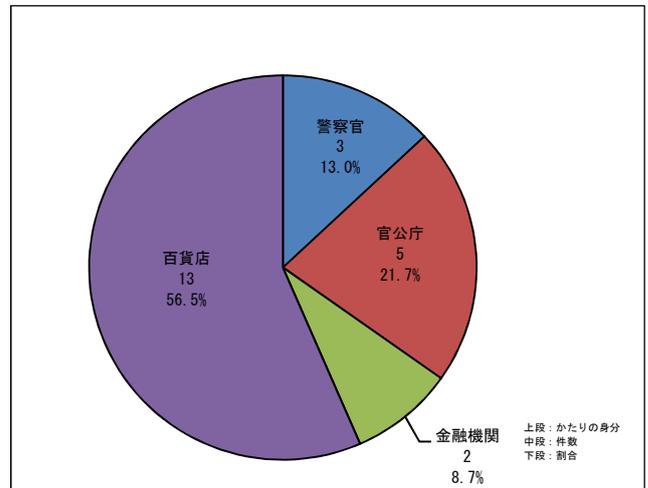


◆主な手口のかたり、名目

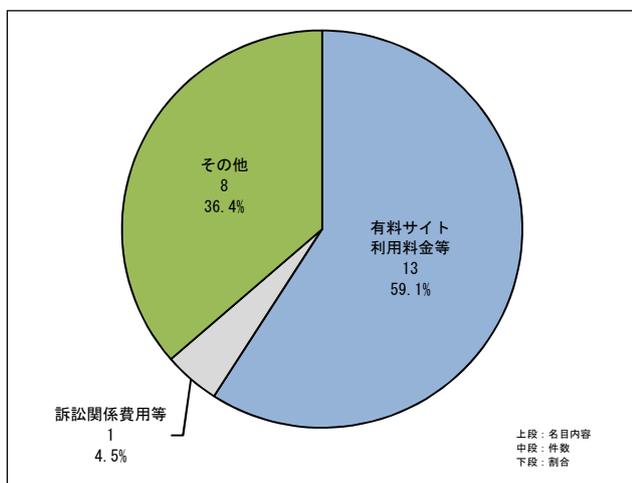
【オレオレ詐欺・かたり】



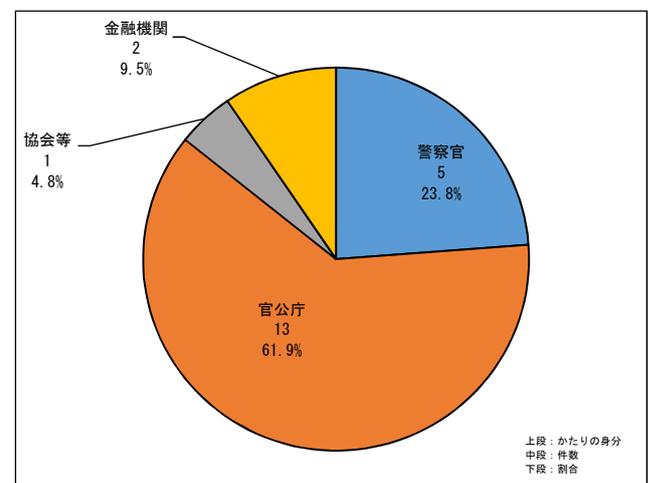
【預貯金詐欺・かたり】



【架空料金請求詐欺・名目】



【キャッシュカード詐欺盗・かたり】



特殊詐欺被害防止共同キャンペーン 実施要領（案）

くらし安全・消費生活課

趣 旨

特殊詐欺の被害件数が増加している状況を踏まえ、被害の撲滅を目指し、オール長野県で集中的な取組を実施する。

期 間

令和3年10月1日（金）～10月31日（日）

実施主体

長野県消費者被害防止対策推進会議（69団体）

重点取組事項

- 電話対策（犯人からの連絡手段の約8割を固定電話が占める）
- 架空料金請求詐欺被害防止対策（被害額全体の約4割を占める）

実施内容

- テレビ・ラジオでのCM放送（県警）
- 統一チラシ・ポスター作製（県）、配布・掲示（会議構成団体）
- 市町村広報誌での啓発（市町村）
- 高齢者宅等の戸別訪問（県警・民生児童委員）
- 大規模店舗、金融機関等での音声啓発（県・スーパー・金融機関等）
- 迷惑電話防止機能付き電話機の普及促進（NTT 東日本長野支店、県電機商業組合、家電量販店）
- その他会議構成団体ができる取組を実施（年金支給日の金融機関での啓発活動、報道関係機関による報道、機関紙等での啓発 など）

【参考：令和3年8月末現在の発生状況】

件数：103件（対前年同期比 +17件 +19.8%）（目標：90件以下）
金額：174,302,234円（対前年同期比 +335,470円 +0.2%）

特殊詐欺の入り口は、



自宅への 1本の電話から。



峰竜太さん

電話犯人
からの
電話を受け
ない!!



長野県消費者被害防止キャラクター
モシカッチ

相手を確認してから電話にでましょう

電話対策で、
家族と、大切な
財産を守る!

- ✓ 在宅中でも留守番電話設定
- ✓ 迷惑電話防止機能付き電話機、録音・警告メッセージ機能付き対策機器の活用
- ✓ ナンバーディスプレイ・着信拒否設定の利用



長野県警察
特殊詐欺被害抑止キャラクター
ピイじいさん